

2019
4・5月 須坂高校 たより

臥龍魂
熱意気かり



☆「信州グローバルハイスクール」研究校の指定を受けました☆

◇本校は、長野県による「県立高校『未来の学校』構築事業」の一環として、2019年4月に、「信州に根差したグローバルな学びを推進する高校『信州グローバルハイスクール』」研究校の指定を受けました。

1. 趣旨

「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」に基づき、「未来の学校」として先進的・先端的な研究開発に取り組む実践校を指定することにより、長野県高校教育をけん引する新たな学びの場、学びの仕組みを構築する。これに向けて、2019年度は研究校を指定し、有識者であるアドバイザーの指導・助言・協働を得ながら研究開発計画を作成し、年度末にその計画を具体的に実践する実践校を指定する。実践校は、2020年度以降概ね5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行うとともに、成果の普及に努める。

2. 「未来の学校」研究校

種別（略称）	研究開発の概要	研究校
信州に根ざしたグローバルな学びを推進する高校 (信州グローバルハイスクール)	世界の諸課題を自分の住んでいる地域と関連付けながら、大学や学校外の団体等と協働して、社会変革や新たな価値を生み出すことにつながる課題解決型学習（PBL）を推進する。	須坂高校

☆『信州グローバルハイスクール』研究校決定記念講演会☆

5月13日(月)に、研究校指定決定を記念して、信州大学特別特任教授 遠藤守信先生 の講演会をお願いしました。以下に、生徒の感想を掲載します。

○「見たいものを見るのではなく、そこにあるものを見る」という言葉が、今回の講演会の中で最も印象に残った。テレビや新聞、その他SNS等で「見たいものだけを選んでみる事ができる」ようになった現代社会において、言葉どおり見たいものだけを見ている自分、またそれによって偏った考え、視点が根付いてしまった自分が出来上がっていたと感じていたため、この言葉に、目が醒めるような衝撃を受けた。また、「今の時代に求められる想像力を養うために、何事もそのまま信じこまず、疑ってみるべきだ」との言葉にも納得した。偏見を持つ、今あるものが正しいと信じている、そのままでは駄目なのだということを教えられ、自分の中の固定観念が一つほどけた感じがした。今日の講演会で得たこと、気づいたこと、それを忘れずに今後の生活に活かし、将来に向かって努力を積み上げていきたい。(3年女子)



○わたしは、いわゆる「文系」と呼ばれる人間で、数学や理科といった学問にかかわることはないと考えていました。これだけ周りを数学や理科で培われたものに囲まれているにもかかわらず、なかなか良い印象を持つことができませんでした。しかし、今日の先生の講演を聞き、社会に無駄な学問はないということを確認しました。自然科学と社会科学の上にこの社会は成り立っており、どちらかに偏った社会は、続きません。

この須坂高校に「グローバル」という言葉がついた限り、そこで学ぶ私たちは外をしっかりと見なくてはなりません。私は、「グローバル」とは単に英語を話せるようになることではなく、自分とは異なる価値観を持つ人々といかにうまく関係を結べるかを模索することだと思っています。英語はもはや、たくさんある道具の中の一つだと個人的には考えています。自らが思い描く「グローバル」像を実現させるため、努力を重ね続けます。(3年男子)

☆須坂高校スリランカ研修(2019年1月13~20日)の報告書ができました☆



本年度(平成30年度)、須坂高校は初めてサイエンス・アソシエーション・プロジェクトに応募し、平成31年1月13日~20日の7泊(1機中泊)8日、スリランカ共和国での研修を行いました。それぞれの生徒が研究課題を設定し、現地機関で働く日本人の方々や現地教育機関を訪問し、交流を深めました。研究課題は以下の通りです。

○ アーユルヴェーダと西洋医学・漢方との共通点と相違点

- スリランカ的环境問題について、ゴミと衛生状態について
- スリランカの医療と教育
- スリランカの立場から考える日本の過剰消費
- アーユルヴェーダがどのように人々の生活に浸透しているか
- スリランカの教育事情(進学率、教育水準と生活水準)
- バウ建築の特徴と日本建築との比較
- アーユルヴェーダと現代医学の共通点と相違点
- 民族衣装における日本とスリランカの共通点と相違点
- 人々の宗教の捉え方と社会への影響、女性の社会的認知のされ方

☆須坂高校公開授業(5月25日)ご来校ありがとうございました☆

中学生、保護者、地域の皆様など総計264名に授業や生徒の発表をご覧いただきました。以下にお寄せいただいた感想の一部を掲載します。今後の教育活動に活かしていきます。感謝申し上げます。



・古き良き学校の印象を失わないようにしつつ、最新のICTを使った授業が素晴らしい。先生が気さく、

生徒が生き生きとしていて自由に真面目に学ぶ雰囲気が出ていて良かった。(中学生)

・海外研修、情報プレゼン、1年生の質問する姿が堂々としていて素晴らしい。(保護者・地域住民)

☆台湾国立羅東高級中学との交流(4月16日)

☆台湾私立弘文高級中学との交流(5月27日)

